

活動目標 5つの伴づくり

「住民の連携」「生活環境の向上」「災害に強く・犯罪のない地域」—の3つの基本理念を実現するために、「5つの伴づくり」を掲げて、平成28年度の連合会運営を進めます。

- ①子どもからお年寄りまでが安心して歩ける「伴」
 - ・「ゾーン30」を核にした総合的な交通安全対策
- ②自助・共助。助け合いながら、幸せに暮らせる「伴」
 - ・地域防災計画=ハザードマップ、避難計画などの作成
- ③知育・体育・徳育。子どもがすすくと学び育つ「伴」
 - ・広島市内で2番目の超マンモス校の教育環境の改善
- ④情報が行き交い、みんなが手を携えて地域づくりに励む「伴」
 - ・住民一町内会一連合会一行政をつなぐ情報ネットワークの構築
- ⑤住み・動き・働き・憩う社会インフラ豊かな「伴」
 - ・急激な都市開発のひずみを解決する「まちづくり」の取り組み
 - 以上の「5つの伴づくり」を関係部会の活動の柱として取り組みます。

伴学区町内会連合会は「5つの伴づくり」—左表—を目標に掲げて、28年度の活動に入っています。役員体制は6年ぶりに一新し、教育環境の改善から交通安全、防災、防犯と地域に横たわる生活に密着

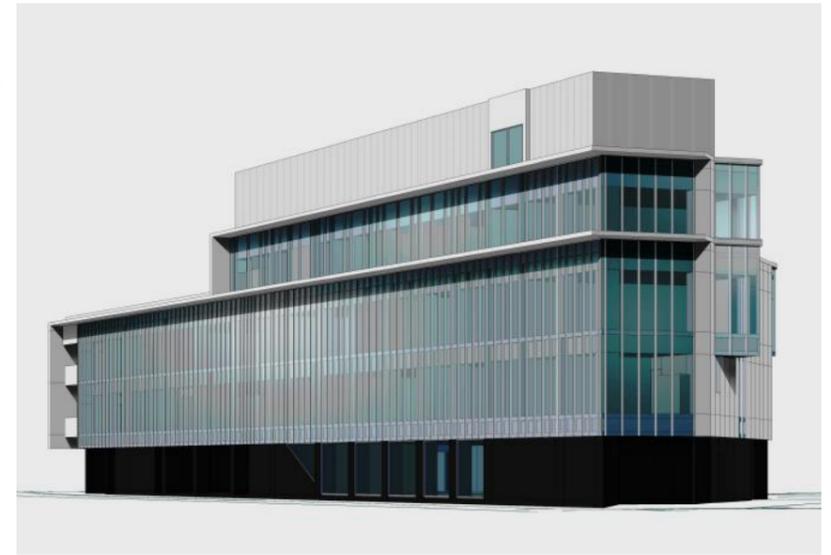
した懸案の解決に、新旧役員が手を携えて取り組んでいます。第7回通常総会(5月21日、JA伴支店会議室)で新役員を選任が行われました。会長には6年間務めた秋野征治会長(雲願寺町内

6年ぶり役員一新 「安心安全なまちづくり」誓う

伴学区町内会連合会だより

発行者 伴学区町内会連合会事務局

沼田合同庁舎(仮称)関連工事始まる 沼田公民館前30年春完成へ



沼田合同庁舎の完成予想図。カーテンウォールが輝く4階建(安川からの外観)

沼田合同庁舎(仮称)の関連工事が8月8日から、沼田公民館前の広場で始まりました。安佐南区役所沼田出張所、沼田公民館、沼田老人いこいの家の3つの施設が入る、沼田・伴地区の新たなコミュニティセンター。足かけ3年の建設工事で、平成30年春の完成を目指します。合同庁舎の建設場所は伴東7丁目の現公民館西側の安川沿いの沼田公園。2千8百平方メートル、鉄筋コンクリート造4階建てで、

延べ床面積は3千7百平方メートル。1階は玄関ホールと交流スペース。2階が出張所と老人いこいの家、3、4階は公民館。60台分の駐車場を備え、沼田公園は東側に移されます。この度工事が始まったのは、こいの家の仮設施設。9月末に完成し、現在のこいの家の解体、合同庁舎の建設と順次進められます。この庁舎は、安佐南工場(こみ焼却工場)、西風館(火葬場)

の伴地区への建設の代償として、市が地元対策事業の目玉にあげて実現しました。総工費は22億円で、庁舎関係が18億円という大きな事業です。庁舎の外壁はカーテンウォール(ガラス張り)のモダンな造りの設計。日光の十分な遮熱対策が求められます。また、災害時の避難場所としての機能も地元では強く求める声が出ています

通学路の安全対策など要望

沼田公民館で 区政懇談会

「あさみなみ区政懇談会」が8月3日、沼田公民館で開かれました。谷山勝彦区長が「災害に強い地域づくり」を強調しました。安佐南区の本年度の主要な事業について説明する目的。谷山区長をはじめ区役所の幹部20人が出席。地元からは伴、伴東、



沼田公民館で開かれた区政懇談会

大塚・伴南、戸山地区の町内会長たち70人が顔をそろえました。冒頭、谷山区長が「8・20災害から間もなく2年。佐東地区を中心に砂防ダムなどの建設が進んでいます。今後避難体制を含めて安全な区づくりを努めます」とパワーポイントを使って、今年度の区政の主要事業について説明しました。

5月中旬に新体制に なって3ヵ月余り。一日も早く町内会の皆さんに連合会の動きをお届けしなければ」と思いながら、今日になってしまいました。遅くなったことをお詫び申し上げます。地域課題が次々に浮上し、連合会の役割は一層重くなってきているように感じます。その分、地域の皆さんとの情報の共有は重要になっていきます。体制を整えて、可能な限り情報発信に努めます。今回の7号は石内社協の六拾部忠紀事務局長の指導を受けました。秋に向かって台風シーズン。「自助・共助」で過ごしましょう。(K)



平成28年度 通常総会 伴学区町内会連合会 「5つの伴づくり」を決めた連合会総会

が退任し、三城田町内会長の川本一之氏が2代目の会長に、事務局長は上垣内保之伴中央町内会長に代って細坂町内会長の天王春人氏が選ばれました。新年度の事業計画では、「住民の連携」「生活環境の向上」「災害に強く、犯罪のない地域」—の

3点を基本理念にし、これを実現するために「5つの伴づくり」を掲げて各部会で取り組む方針を決めました。この中で、安心して歩ける道を取り戻す「ゾーン30」制度を学区全域に広げるとともに、市内2番目の超マンモス校の伴小の教育環境の改善、さらに情報ネットワークの構築、急激な都市化の「ひずみ」を解決するまちづくりなどを新規に加えました。川本会長は「西風新都の開発で伴地区は児童数が急増し、大型トラックやダンブカーが狭い道路を走り回り、生活、教育環境は悪化の一途をたどっています。幼児からお年寄りまで、体の不自由な人も安心して生活できる伴を知恵を出し合って作っていきましょう」と抱負を述べました。

推進協は桑原氏が新会長に

沼田町伴地区コミュニティ推進協議会の新しい会長に桑原一之・伴東学区社会福祉協議会長が選任されました。4年間務めた秋野征治氏は委員として残留。副会長、事務局長も多くが交代し、新しい役員体制

や恵下廃棄物処理場などの問題が浮上しています。コミ協一丸となってより良い伴づくりに励みましょう」と呼びかけました。新役員は次の通り(敬称略)。会長は桑原一之(伴東学区社会福祉協議会長) 副会長は川



熊本滋(大塚・伴南学区社会福祉協議会副会長)、西村昌平(同) 監査増本祥人(大塚・伴南学区社会福祉協議会副会長)、沖田忠春(伴東学区社会福祉協議会理事)

本一之(伴学区町内会連合会長、火之迫清治(大塚・伴南学区社会福祉協議会副会長) 事務局長は茂木辰雄(同事務局長) 委員は上山彰(伴学区町内会連合会副会長)、秋野征治(同特任理事)、上垣内保之(同)、

新役員は次の通り(敬称略)。会長は川本一之(三城田) 副会長は山田初則(奥畑)、加藤栄治(ライオンズマンション大原駅前)、上山彰(大原) 事務局長は天王春人(細坂) 理事(会計)は大迫俊治(天下中畑) 理事は尾坂睦晴(広陵)、庄原正則(下俣)、川原春巳(巻)、水嶋節郎(伴中央)、砂田昌彦(グリーンヒル大原)、佐々木良司(雲願寺)、遊佐康彦(瀬戸内苑)、則川浩二(若葉台) 特任理事は秋野征治(雲願寺)、上垣内保之(伴中央) 監事は稲葉憲治(三城田)、段原克彦(広陵) 顧問は谷口修、安達千代美(いずれも市議) 相談役は原田照美(細坂)